

道徳科学習指導案

令和2年11月27日（金）第5校時 第2学年

1 **主題名** 異なる個性の尊重（内容項目 B－（9）相互理解、寛容）

教材名 「だから歌い続ける」（日本教科書 生き方を見つめる 2年）

2 主題設定の理由

（1）ねらいとする価値

本主題は、学習指導要領の内容項目B－（9）「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。」をねらいとしている。特に、本時では性的少数者である性同一性障害について扱い、当事者の感じる孤独感や受ける差別などに触れる中で、少数者が理解されないことで感じる苦しみや辛さを考え、誰しもが自分自身に対する劣等感や孤独感を感じていることから、少数者の理解が自分自身を含めたすべての人の思いや考え方を尊重した社会へつながっていくこと、そしてその中で自分自身がよりよい生活につなげていけるようになることを扱っていきたいと考える。

（2）生徒の実態

省略

（3）資料について

性同一性障害を抱える生徒が自分自身の思いや周りからの差別に苦しんでいる中、担任の先生の理解や励ましで自分自身のことを見つめ、前向きにとらえていこうとする心の変化を感じ、進んでいこうとする話である。性同一性障害は、当事者が自分自身のことを受け入れることの難しさやつらさ、苦しみなどを抱えるものである。また、周りの正しい理解が無いために生じる差別的な言動に苦しむこともある。そのような性同一性障害を抱える人の存在や様子に気付くことができる教材であり、担任の先生とのやり取りを通して、相手の気持ちを理解し、様々な価値観の存在を認めていくことの大切さを考えることのできる教材である。

3 指導方針

○事前指導として

- ・事前調査を行い、その結果から少数の側に立つことの不安や周りからの目が気になることなどを扱うことで、本時のねらいを身近なものとして捉えられるようにする。

○本時の学習として

- ・性同一性障害を抱える生徒の苦しみや大変さを読み取ることを通して、その理解につなげられるようにする。
- ・当事者の立場であったらどう感じるかを想像することで、自分事としてとらえられるようにし、そこから本時のねらいである様々な価値観の理解につなげられるようにする。
- ・授業全体を通して、できるだけ生徒の言葉や意見を取り上げて板書し、それらを生かしながら生徒の言葉で考えを深めていけるようにする。

○事後指導として

- ・自分の考えが少数の側の意見になることが普段の生活にもあることを踏まえ、今後も様々な考えや意見を尊重しながら生活することの大切さを、学級活動など集団で活動する場面で考えていけるようにする。

4 人権教育とのかかわり

中学校の段階では、より一層新しい見方や考え方の多様性を実感することが多くなっていく。そして、自分の考えや意見と相手との差異を理解しつつ、自分の考えや意見を伝えることの大切さを感じる

機会が増えてくる。ものの見方や考え方が確立するとともに、自分の考えや意見に固執する傾向が見えてきたり、時に相手と対立したり、相手を思わぬところで傷つけてしまうこともある。

そのため、まず、個性とは何かを正しく理解するとともに、互いの個性や立場を尊重し、広い視野に立っているいろいろなものの見方や考え方や立場を尊重して生活していかなければならない。今回は、性的少数者という人の立場や思いを扱うことを通して、より多様な価値観の存在に気付き、改めて互いを尊重しながら生活するために大切なことは何かを考える機会となることが考えられる。

本時では、教材の中で性同一性障害に苦しむ生徒の思いや立場を想像し、理解を深めていく。また、自分だったらどう感じるかという問いから自分事として考えることを通して、お互いを理解していくために必要なことは何か考えていく。これらの活動を通してこれまでの日常生活を振り返り、より多様な価値観の中で相手を尊重して生活していくことの大切さを考える機会にしていきたいと考える。

5 本時の学習

(1) ねらい

性的少数者の孤独感や差別を受けている苦しみを理解し、誰しもが感じる自分自身への劣等感や少数の立場に立った時の思いと照らし合わせることを通して、少数の立場の人の思いや考えを尊重しながら生活することの大切さを実感することができるようにする。

(2) 準備

教科書、ワークシート

(3) 人権教育の視点【育てたい態度・能力】

- 知性：性的少数者の存在を正しく理解し、そのような人が自分自身や周りに対して様々な悩みや葛藤を抱えていることを理解しようとする。
- 感性：性的少数者のような少数の意見や考えをもつ人の辛さや苦しみを想像し、さらにそのような思いは自分自身への劣等感を感じる時や少数の立場に立った時の思いと照らし合わせて感じることができる。

(4) 展開

過程	学習活動 主な発問 (□) 予想される生徒の反応 (・)	時間	指導上の留意点
導入	<p>1. アンケート結果をもとに自分だけがちがうと考えたり、感じたりした経験があり、少数の立場になった経験があることを全体で共有する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 周りと比べて自分がちがうことで悩んだり、気になったりした経験がありますか。</p> <p>2. 周囲の人で、自分自身と周りの人を比べて悩んでいる人がいることに気付いたり、悩んでいることを相談されたりしたことがありますか。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【めあて】 少数の人の意見を尊重するために大切なこととは何だろうか。</p> </div>	5分	○アンケート結果から少数派になった時の経験を多くの生徒がしていることを共有し、めあてに対する問題意識をもてるようにする。
展開	<p>2. 道徳的な問題を探究する。</p> <p>(1) 教師による範読を聞きながら、資料のあらすじを捉える。</p> <p>・性同一性障害というものについて確認し、LGBTに</p>	25分	

についても簡潔に触れる。

(2) 教師による設問

私の苦しみや辛さについてどんな想像ができますか。

資料より

《自分の中のこと》

- ・男として生きたらいいのか、女として生きたらいいのか。
- ・低くて太い声を出すことがどうしても耐えられない。
- ・たくさんの人が怖い。

《他人からのこと》

- ・学校で友達からひどい言葉、いじめ。
- ・きょうだいからの嫌がらせ。殴られ、蹴られ。

《生徒が想像して感じること》

- ・苦しい。
- ・何もできなくなりそう。
- ・みんなに会いたくない。

先生は、わたしのことをどのように受け止めていったのでしょうか。(先生はどのような気持ちだったか)

- ・辛い気持ち、苦しい気持ちをできる限り理解してあげたいという気持ち
- ・音楽が好きだという気持ちを大切に、できる形で音楽は続けてほしい。
- ・できることはしてあげたい。
- ・私の個性を大切にしてほしい。

(資料の中の私は性同一性障害という立場で自分だけが他と違うことで苦しみ、しかし、先生が受け止めてくれたことで最後には「何かが変わっていくような気」になった。このことは、あなたの場合にも当てはまることがあるのではないか、という投げかけに対して)

少数の人の意見や考え方を尊重するために大切なこととは何だろうか。

- ・辛い気持ちでいるかもしれないと理解しようとする。
- ・少ない意見も大切にする。
- ・いろいろな考え方をしている人がいるかもしれないという思いをもって、その考えを受け止めていく。
- ・ありのままを受け止めようとする気持ち。

15分

○資料の中から苦しみや辛さの記述に着目するとともに、自分だったらどう思うかを想像して考えたことなどを出すことで、性的少数者の思いや辛さに気付けるようにする。

○先生だけが理解者となって存在していたことに触れ、自分が先生の立場だったらわたしのことを理解してあげられるかどうか考えることで、その難しさを感じた生徒に共感的に理解するとともに、人間理解にもつながるようにしたい。

○私の辛さや苦しみは障害がある人だけのものではなく、少数の意見や考え方になることは誰しも経験することであり、自分自身が少数の立場になった時のことを想像することで少数意見を尊重する大切さを考えられるようにする。(他者理解)

○性的少数者に対する理解を深め、その存在を正しく理解することが大切であるということの大切さに触れ

			る。 【知性】
終末	<p>3. 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>これまでの自分、今日考えたこと、これからの自分をそれぞれ振り返りながら書いてみましょう。(個人)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>《これまでの自分》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性同一性障害のことはよく考えたことが無かった。初めて知った。 ・自分だけが違うと思いきや悩んだことがあったが、みんなも同じ気持ちをしていたことがわかった。 <p>《今日考えたこと》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性同一性障害（LGBT）というものについて考えることができた。 ・他の人もいろいろな気持ちを抱えていることがわかった。 ・少数の意見も大切にしながら考えていくことが大切だと感じた。 ・自分の個性を大切にしていきたいと感じた。 <p>《これからの自分》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少数の意見も大切にしていきたい。 ・いろいろな意見や考え方を認めることで自分も周りから認めもらえるから、自分自身も気持ちよく過ごすことができると思うので、これからもその気持ちで過ごしていきたい。 </div>	5分	<p>○性的少数者のような少数の価値観の存在を含め、様々な価値観が存在することに気づき、その存在を認めながら過ごしていくことの大切さを感じられるようにする。 【感性】</p>

(5) 評価

- 性的少数者の孤独感や差別を受けている苦しみについて、誰しもが感じる自分自身への劣等感や少数の立場に立った時の思いと照らし合わせるなどして自分事として考えることができていたか。
- 少数者の立場や思いを尊重しながら生活することの大切さを多面的・多角的に考えることができたか。

(6) 板書計画

<p>三、ふりかえり</p> <p>二、先生は私をどのように受け止めていったのでしょうか。</p> <p>一、私の苦しみや辛さについてどんな想像ができますか。</p>	<p>性同一性障害</p> <p>T・・・トランスジェンダー</p> <p>B・・・バイセクシャル</p> <p>G・・・ゲイ</p> <p>L・・・レズビアン</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>めあて 少数の意見を尊重するために大切なこととは何だろうか。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;">中村さんの写真</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;">アンケート結果①</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;">アンケート結果②</div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <p>【第 回道徳】</p> <p>【テーマ】</p> <p>相互理解・寛容</p> </div> <p>だから歌い続ける</p>
---	--	--